

企画提案書記載事項兼審査基準			記載事項の説明	評価のポイント	
1	1.1	プロジェクト概要	概要	提案の概要、実施方針、達成目標、ポイントについて記載すること。	・四日市市デジタル人材育成計画や本業務の主旨、目的を理解した提案となっているか。
2	2.1	実施体制	実施体制	プロジェクト実施体制図を示し、その役割を記載するとともに、研修を実施するための体制について提案すること。協力会社の講師を起用する場合は、社名や委託内容を記載すること。	・本業務の遂行にあたり、適切な人員配置体制となっているか。 ・バックアップ要員は確保されているか。
	2.2		動画提供体制	研修用動画を収録する手法や収録環境、提供方法を記載すること。動画研修の収録環境や提供方法を提案すること。	・受講者が視聴しやすい研修動画を提供可能か。 ・本市の要望に応じて動画内容の修正ができるか。
3	3.1	実績・専門性	実績	担当する講師及びファシリテーターの研修に関する経歴と、本提案に生かせる過去3年間で担当した主な自治体におけるDXに関するワークショップの実績（自治体名、研修名、研修概要、実施回数、対象者数、契約額）を示すこと。 また、本事業の実施に際し、有効な知識や資格を講師が保有している場合は、あわせて示すとともに、どのように研修に活かせるか説明すること。	・担当する講師やファシリテーターは、国や地方公共団体においてワークショップ形式の研修の実施経験が豊富であるか。 ・講師やファシリテーターが有する経験や資格を本業務にどう活かせるか説明されているか
4	4.1	スケジュール	スケジュール	各研修実施までの作業項目及び本市との役割分担、スケジュールについて、具体的に記載すること。また、研修実施日時の調整において本市の負担軽減策を提案すること。	・本市が研修内容を確認する期間について十分配慮し、無理のないスケジュールが提案されているか。 ・本市の希望通りの日時に研修を実施する工夫がされているか。
5	5.1	企画提案	受講者の意欲向上	受講者の研修に対する意欲を向上させるために、各研修における、研修受講の動機づけ及び、学んだ内容を日常業務にどう生かすかを認識、実践させるための仕組みを提案すること。	・受講者の意欲を向上させる効果的な提案がされているか。
	5.2		受講者負担の軽減	令和5年度に四日市市デジタル人材育成計画に基づいた研修を実施した中で、以下の課題があがっている。受講者の負担を軽減しつつ、効果的な研修を提案すること。 ・各研修に対する受講者の時間的負担が大きい ・日常業務の合間にDX施策立案活動（各自が研修時間外に時間を作り、DX施策立案に向けて活動）に取り組むことが難しい	・各研修の目的を達しつつ、受講者の負担軽減につながる提案になっているか ・研修時間外に活動する各課におけるDX施策立案（自主活動）の負担軽減につながる提案になっているか
	5.3		独自提案	仕様書の記載に関わらず、本業務の効果を最大限に高めるための独自の企画提案を行うこと（ただし、今回の費用に含むものに限る）。なお、提案数は任意とする。	・提案は具体的で、本業務の遂行に効果的な独自提案となっているか。
6	6.1	価格	参考見積書	参考見積書により、各工程における費用を記載すること。必要に応じて工程は細分化しても差し支えない。	—
7	7.1	プレゼンテーション	プレゼンテーション・質疑応答	—	・DXに関する知識を持たない職員でも理解できる、誰でも分かりやすい内容・発表になっているか。